

2023 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 作業療法士学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
|---|-----------------------|---|---------|--------------|--|---------------|
| 科 目 名 | 解剖学Ⅱ① | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 60 (4) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年 | | 学期及び曜時限 | 通年 前月1 | 教室名 | 視聴覚室 |
| 担 当 教 員 | 早川 大輔 | 実務経験と その関連資格 | 博士(医学) | | | |
| 《授業科目における学習内容》 身体の構造と機能のうち神経系の解剖、生理を学んでいく。疾患や障害の理解、リハビリテーション実施の基礎となるものである。 主に解剖学の教科書に沿い、それに一部生理機能を補いながら説明していく。内容は初めて習うことが多く、専門用語が多いので繰り返し復習することが大切である。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 期末試験(筆記)100%で評定する。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 <ul style="list-style-type: none"> 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 [第5版] (医学書院) PT・OT 基礎から学ぶ解剖学ノート [第3版] (医歯薬出版) イラスト解剖学 [第10版] (中外医学社) | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 履修する内容が多いので、1回1回の講義を大切にしていきたいと思います。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 神経系の基本的な構造が説明できる。(～P232) | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 神経系総論①(神経系の区分、構成) | | | | |
| 第2回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 髄膜・脳室系の構造と機能を説明できる。 神経系の発生に関して説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 神経系総論②(髄膜・脳室系、神経系の発生) | | | | |
| 第3回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 脊髄の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経系①(脊髄) | | | | |
| 第4回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 延髄・橋の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経系②(脳幹:延髄・橋) | | | | |
| 第5回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 中脳・網様体の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経系③(脳幹:中脳・網様体) | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-----------------------|---|--|--------------|--|
| 第6回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 小脳の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経系④(小脳) | | | |
| 第7回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 間脳の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経系⑤(間脳) | | | |
| 第8回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 大脳辺縁系、大脳基底核の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経系⑥(大脳辺縁系、大脳基底核) | | | |
| 第9回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 終脳の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経系⑦(終脳1) | | | |
| 第10回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 終脳の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経系⑧(終脳2) | | | |
| 第11回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 神経路とその機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経系⑨(神経路1) | | | |
| 第12回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 神経路とその機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経系⑩(神経路2) | | | |
| 第13回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 神経系の解剖学的・組織学的構造および生理学的作用が説明できる。 中枢神経系(脳および脊髄)や神経路の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 神経系総論・中枢神経系の総括① | | | |
| 第14回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 神経系の解剖学的・組織学的構造および生理学的作用が説明できる。 中枢神経系(脳および脊髄)や神経路の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 神経系総論・中枢神経系の総括② | | | |
| 第15回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 神経系の解剖学的・組織学的構造および生理学的作用が説明できる。 中枢神経系(脳および脊髄)や神経路の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 神経系総論・中枢神経系の総括③ | | | |

2023 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 作業療法士学科 | | 科目区分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
|---|-----------------------|------------------------------|---------|--------------|--|---------------|
| 科目名 | 解剖学Ⅱ② | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 60 (4) 時間(単位) |
| 対象学年 | 1年 | | 学期及び曜時限 | 通年 後期 | 教室名 | 視聴覚室 |
| 担当教員 | 早川 大輔 | 実務経験と その関連資格 | 博士(医学) | | | |
| 《授業科目における学習内容》 身体の構造と機能のうち神経系の解剖、生理を学んでいく。疾患や障害の理解、リハビリテーション実施の基礎となるものである。 主に解剖学の教科書に沿い、それに一部生理機能を補いながら説明していく。内容は初めて習うことが多く、専門用語が多いので繰り返し復習することが大切である。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 期末試験(筆記)100%で評定する。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 ・ 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 [第5版] (医学書院) ・ PT・OT 基礎から学ぶ解剖学ノート [第3版] (医歯薬出版) ・ イラスト解剖学 [第10版] (中外医学社) | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 履修する内容が多いので、1回1回の講義を大切にしていきたいと思います。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第16回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 末梢神経系の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 末梢神経系(脳神経及び脊髄神経)総論 | | | | |
| 第17回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 脊髄神経系(頸神経)の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 脊髄神経①(頸神経) | | | | |
| 第18回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 脊髄神経系(頸神経)の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 脊髄神経②(頸神経) | | | | |
| 第19回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 脊髄神経系(胸神経、腰神経)の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 脊髄神経③(胸神経、腰神経) | | | | |
| 第20回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 脊髄神経系(腰神経、仙骨神経)の構造と機能を説明できる。 | | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 脊髄神経④(腰神経、仙骨神経) | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------------|-------------|------------------------------------|--------------|--|
| 第21回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 脳神経の構造と機能を説明できる。 | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脳神経① | | |
| 第22回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 脳神経の構造と機能を説明できる。 | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脳神経② | | |
| 第23回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 脳神経の構造と機能を説明できる。 | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脳神経③ | | |
| 第24回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 自律神経系の働きについて説明できる。 | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 自律神経系の働き | | |
| 第25回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 皮膚の構造と機能について説明できる。 | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚器①(皮膚) | | |
| 第26回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 視覚器の構造と機能について説明できる。 | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚器②(視覚器) | | |
| 第27回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 平衡聴覚器などの構造と機能について説明できる。 | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚器③(平衡聴覚器、その他) | | |
| 第28回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系・感覚器系の解剖学的・組織学的構造、生理学的作用が説明できる。 | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 神経系・感覚器系総括① | | |
| 第29回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系・感覚器系の解剖学的・組織学的構造、生理学的作用が説明できる。 | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 神経系・感覚器系総括② | | |
| 第30回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系・感覚器系の解剖学的・組織学的構造、生理学的作用が説明できる。 | 教科書 視聴覚教材 | 教科書の内容を図表を中心に予習。授業で学んだことをノートにて復習する。参考図書・テキストなどで理解を定着させる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 神経系・感覚器系総括③ | | |